経済動向調査
2021年7月～9月

景気・消費・需要等動向に
関する情報の収集・整理

2021年12月

商工会南佐久グループ
臼田町商工会　佐久穂町商工会
小海町商工会　南相木村商工会
南牧村商工会　北相木村商工会
川上村商工会

Ⅰ　景気情報等の収集整理

・中小企業景況調査報告書

（全国：2021年7月～9月）

・小規模企業景気動向調査

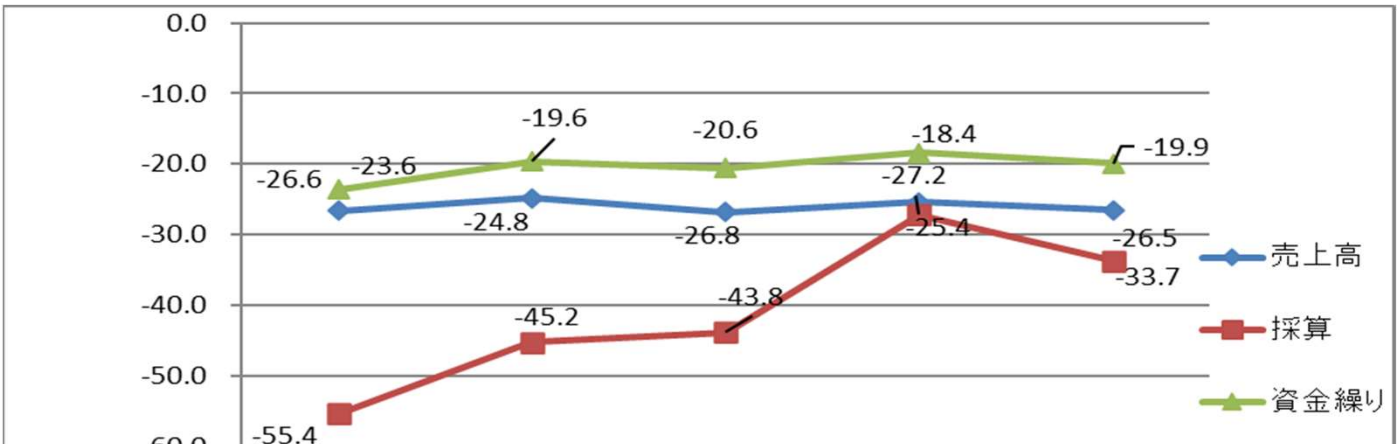
（近隣都道府県経営指導員のコメント：　2021年7月～9月）

※DI（景気動向指数）は、各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す

〈産業全体〉

緊急事態宣言等の延長・適用範囲拡大により全業種で悪化

主要景況項目の動き：DI(%)



	20.07～09	20.10～12	21.01～03	21.04～06	21.07～09
売上高	-26.6	-24.8	-26.8	-25.4	-26.5
採算	-55.4	-45.2	-43.8	-27.2	-33.7
資金繰り	-23.6	-19.6	-20.6	-18.4	-19.9

【経営指導員のコメント】

・巣ごもり需要に対応している企業、対応していない企業で格差が広がっている印象。今後もアフターコロナを見据え動いていかないと更に格差は広がっていくと考える。

（日田地区商工会　大山支所）

・新型コロナウイルス感染症拡に伴うまん延防止等重点措置等やウッドショックの影響により飲食料品小売業を除く、ほとんどの業種の景気は暗転している。飲食店については協力金の支給により持ちこたえることが可能ではあるが、その他の業種においては月次支援金や県独自の支援金では減少した売上の補填には至らず非常に苦しい状況が続いている。

（みやぎ北上商工会）

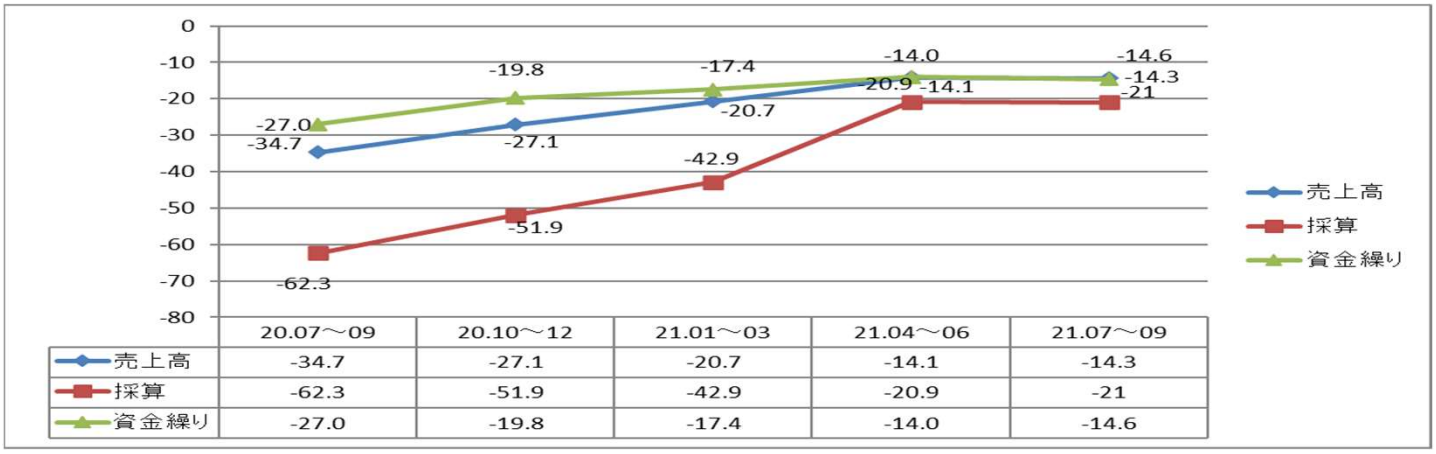
・サービス業は緊急事態宣言の発出の影響を大きく受けているものの、全体的に業況は低水準で先月と変わらずの事業者が多い印象。緊急事態宣言が明けることでの期待と人流が増えることで再び悪化するのではないかといった何とも言えない状況を感じており、今後第何派ときても対応できるようwithコロナへの取組強化を一層支援していく必要がある。また、融資関係も売上が回復していない中、据置期間が終える事業者も多く更に厳しい状況となる懸念がある。（養老町商工会）

・同じ業種でも事業所ごとに状況が異なっている。アフターコロナを見据えた営業努力を重ねている事業所は、結果が出てきており、明るい兆しがある。（香取市商工会）

〈製造業〉

一部業種が好調も、原材料高・人手不足など様々な課題が残る

主要景況項目の動き:DI(%)



	20.07～09	20.10～12	21.01～03	21.04～06	21.07～09
売上高	-34.7	-27.1	-20.7	-14.1	-14.3
採算	-62.3	-51.9	-42.9	-20.9	-21
資金繰り	-27.0	-19.8	-17.4	-14.0	-14.6

・これまでのコロナの需要減の反動で製造業を中心に需要が回復している傾向がある。その背景にはコロナワ クチンの接種が世界規模で進んでおり、自動車関係を中心に景気が浮上している感がある。(備前東商工会 吉永支所)

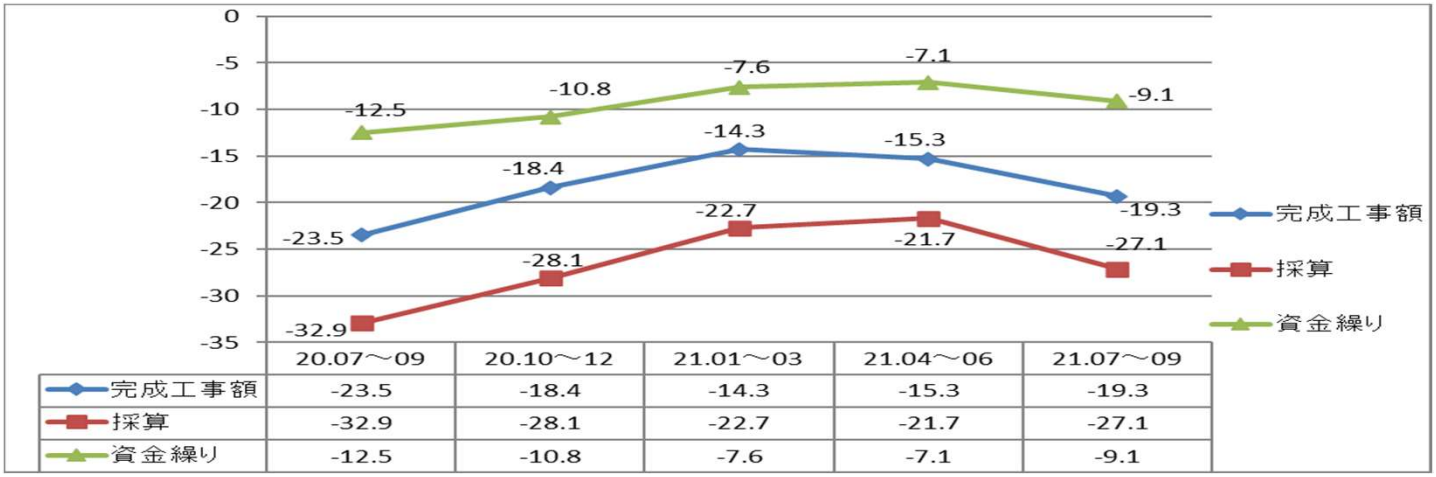
・6次産業化の業者は、EC販売(ネット販売)の売上伸びているが、店舗販売等の売上はやや減少している。 繊維工業関係は、外出自粛により、製造販売額が減少している。(苓北町商工会)

・食品製造業については卸し先の小売等により、個社ごとに明暗が分かれている。機械金属製造業について は、概ね好調であるが、半導体不足の影響を受けているメーカーが取引先である事業者等が業況が悪化して いる。(玖珠町商工会)

〈建設業〉

ウッドショック等の価格高騰や資材調達難に苦しむ

主要景況項目の動き:DI(%)



	20.07～09	20.10～12	21.01～03	21.04～06	21.07～09
完成工事額	-23.5	-18.4	-14.3	-15.3	-19.3
採算	-32.9	-28.1	-22.7	-21.7	-27.1
資金繰り	-12.5	-10.8	-7.6	-7.1	-9.1

【経営指導員のコメント】

・戸建て住宅建設やリフォーム関連工事では、前月に続き、一部工事の遅れな解消が進まず、原材料の高騰も 見られており、利益率を圧迫するなど、経営の悪化に懸念を抱いている事業者が多い。また、コロナ対策融資 の据え置き期間が済み、返済が開始されたことにもとなって、返済原資の確保にも苦慮しだしている事業所も 出てきている。(川西市商工会)

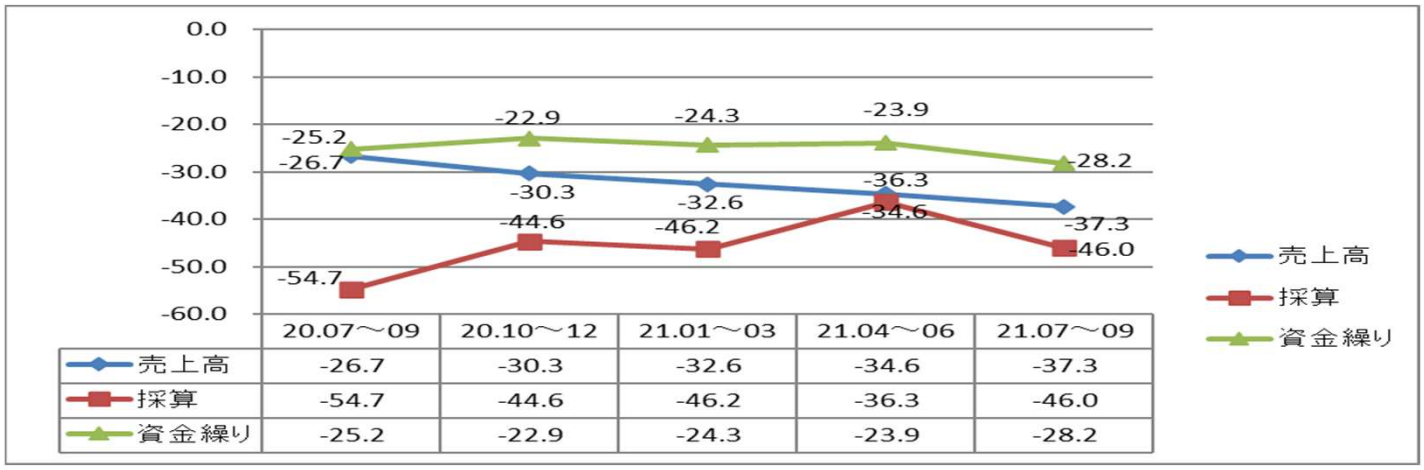
・コロナの影響により、急を要さないリフォームは先延ばしを希望される顧客も多く、売り上げが立っていない状 況。全体的には木材価格の高騰による利益の圧迫や、そもそも調達ができないことによる工期の遅れといっ た問題が出ている。(西東京商工会)

・新型コロナウイルスの影響は続いている。徐々に受注も回復しつつあるものの、コロナ前の水準には到達して いない。前年が最低水準であったため、前年比較としては増加している。(中部商工会産業支援センター)

〈小売業〉

需要減退により、軒並み悪化

主要景況項目の動き：DI（%）



	20.07～09	20.10～12	21.01～03	21.04～06	21.07～09
売上高	-26.7	-30.3	-32.6	-34.6	-37.3
採算	-54.7	-44.6	-46.2	-36.3	-46.0
資金繰り	-25.2	-22.9	-24.3	-23.9	-28.2

【経営指導員のコメント】

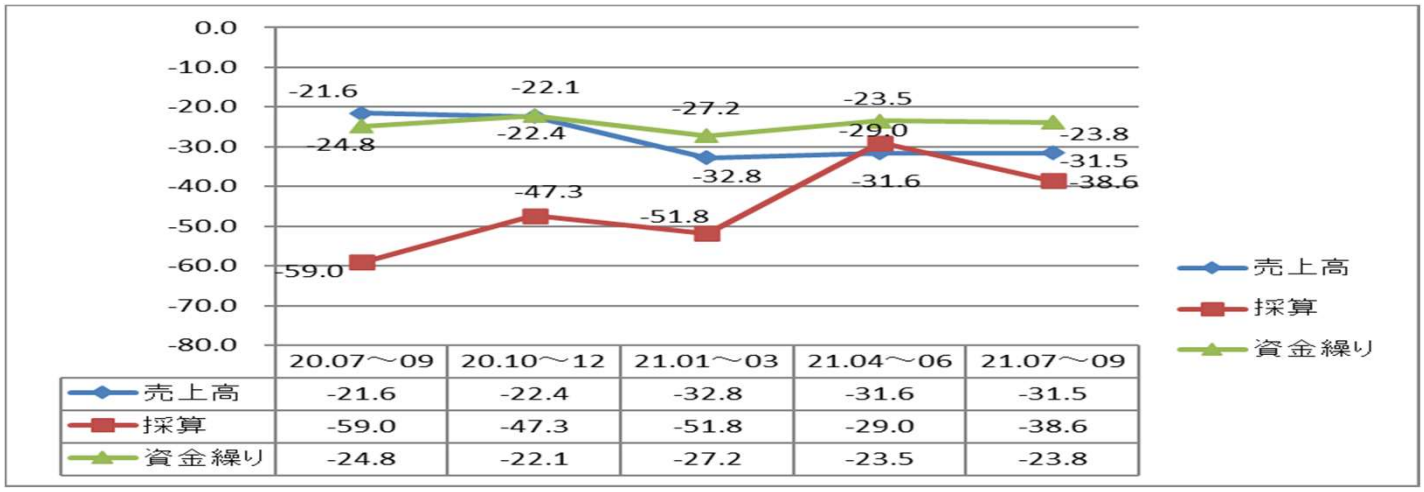
・衣料品小売業においては、今までのメイン顧客である高齢者は外出を控えており、若年層は車で遠方に買い 物に行くため売上の減少が続いている状況にある。地域の商品券事業の効果も薄いと感じられる。食料品小 売業においては、コンビニや大手スーパーへの顧客の流出がコロナ後より顕著になっており、厳しい状況が続 いている。（栗原南部商工会）

・食料品小売業関連の事業者については、8月期は特に新型コロナウイルス感染症の感染者数が全国的に増加したこともあり、前年同月と比較すると仕入単価を除いて全体的にやや悪化の傾向にあり、景気動向としても前年に引き続き厳しい状況が続いている。（あさぎり町商工会）

〈サービス業〉

緊急事態宣言延長・範囲拡大の影響で更に厳しい状況

主要景況項目の動き：DI（%）



	20.07～09	20.10～12	21.01～03	21.04～06	21.07～09
売上高	-21.6	-22.4	-32.8	-31.6	-31.5
採算	-59.0	-47.3	-51.8	-29.0	-38.6
資金繰り	-24.8	-22.1	-27.2	-23.5	-23.8

【経営指導員のコメント】

・コロナ感染拡大により、予約が減少したこともあり週末のみ営業。前年同期はGotoトラベルがあり、比較する と売上は大きく減少。10月からは緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置が一斉解除となる事から、受注が 増える見込み。・ 店舗の顧客層によって状況の差があり。理容業は顧客の高年齢層が多く、外出控えが継 続しており、売上減少傾向が続いている。美容業の若年・中年層の女性客がメインの店舗は特に影響なし。（中部商工会産業支援センター）

・まん延防止等重点措置による外出自粛要請の影響を受け、サービス業などBtoCを基本とする業種は軒並み 悪影響を受けている。旅行・観光業に付随する産業は昨年以上に厳しい状況となっている。（中央市商工会）

Ⅱ　行政の統計情報・民間の景況情報の収集整理

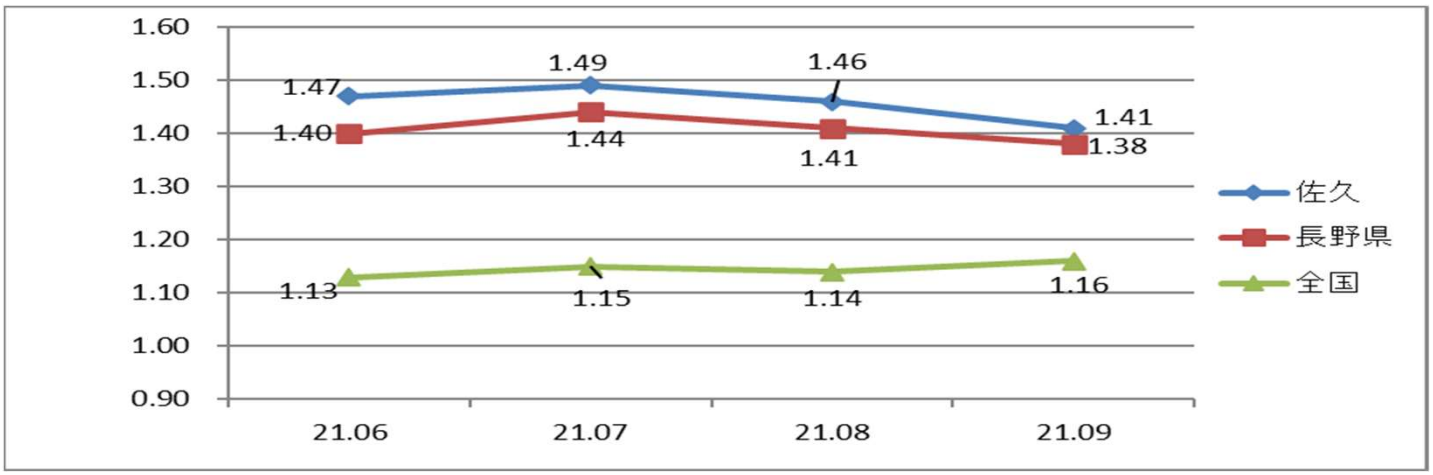
１．人口動態

	人口			世帯数		
	2021.7.1 時点	2021.10.1 現在	増減	2021.7.1 時点	2021.10.1 現在	増減
佐久市全体	98,440	98,536	96	42,615	42,721	106
佐久市臼田	12,783	12,919	136	5,567	5,646	79
佐久穂町	9,972	9,952	△20	3,924	3,922	△2
小海町	4,248	4,225	△23	1,834	1,830	△4
南相木村	925	916	△9	433	434	1
北相木村	691	688	△3	298	296	△2
南牧村	3,230	3,213	△17	1,078	1,060	△18
川上村	4,184	4,189	5	1,095	1,109	14

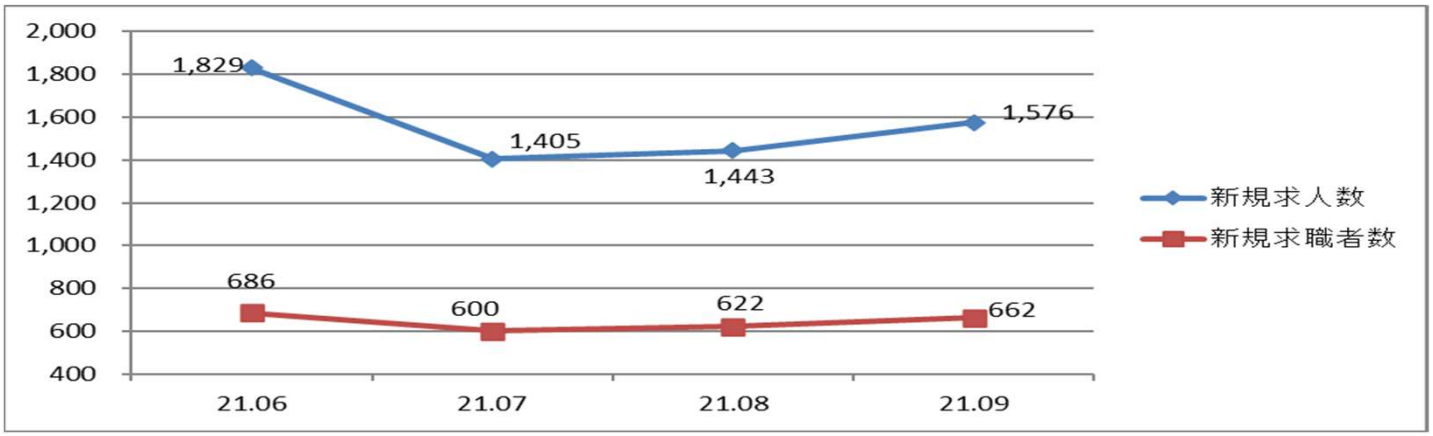
２．雇用情勢

※（佐久）はハローワーク佐久と小諸出張所の合算値

①有効求人倍率の推移（佐久・長野県・全国）



②新規求人数と新規求職者数の推移（佐久）



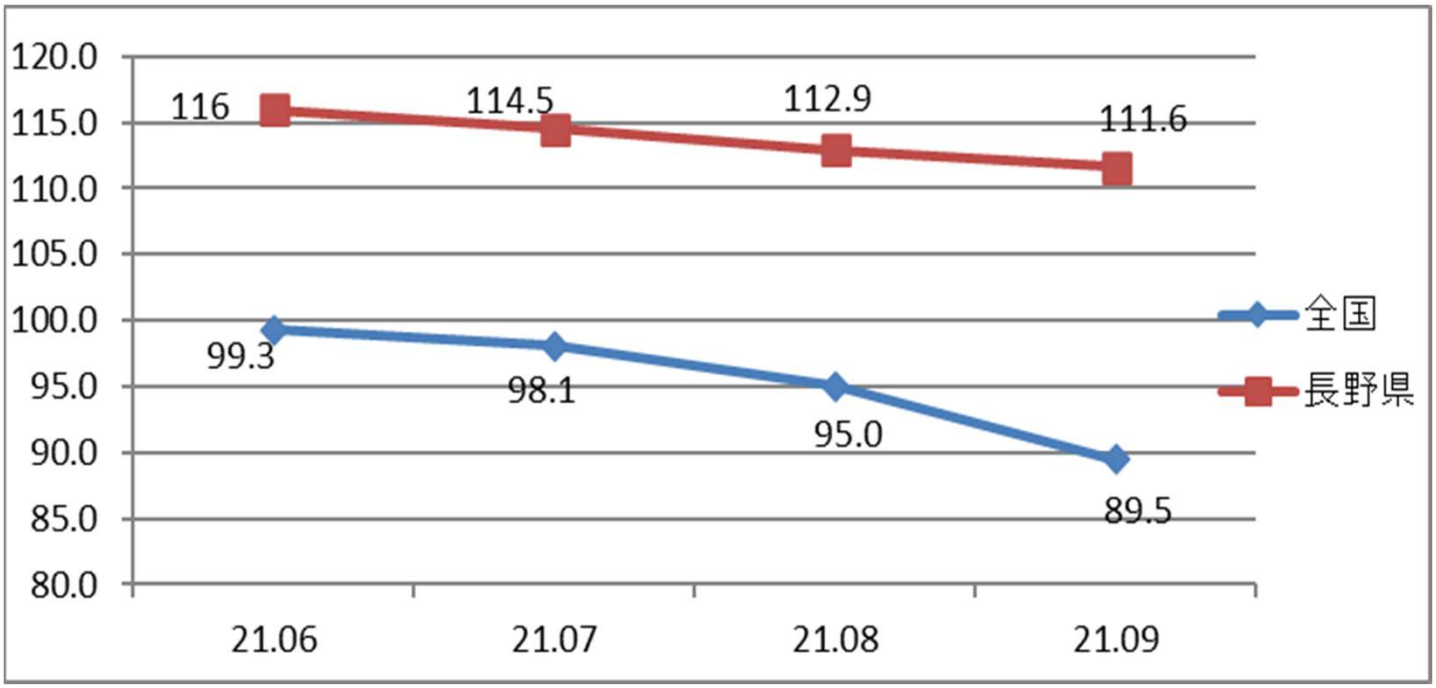
（資料）ハローワーク佐久「業務月報」

３．生産動向

鉱工業生産指数

※鉱工業生産活動の全体的な水準の推移を示します。

（季節調整済み指数）　（2015年＝100）

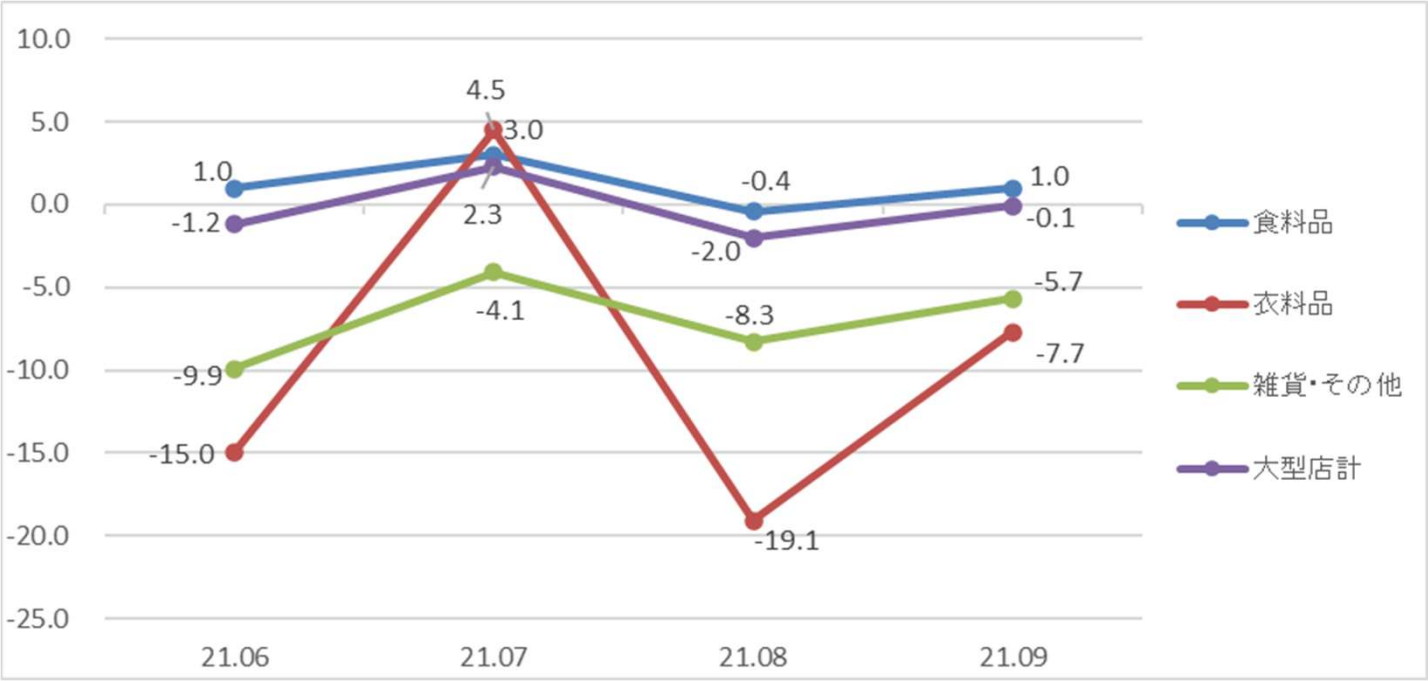


（資料）長野県「長野県鉱工業指数」・経済産業省「鉱工業指数」

４．個人消費

緊急事態宣言の影響で全体的に減少、特に衣料品が大幅に減少

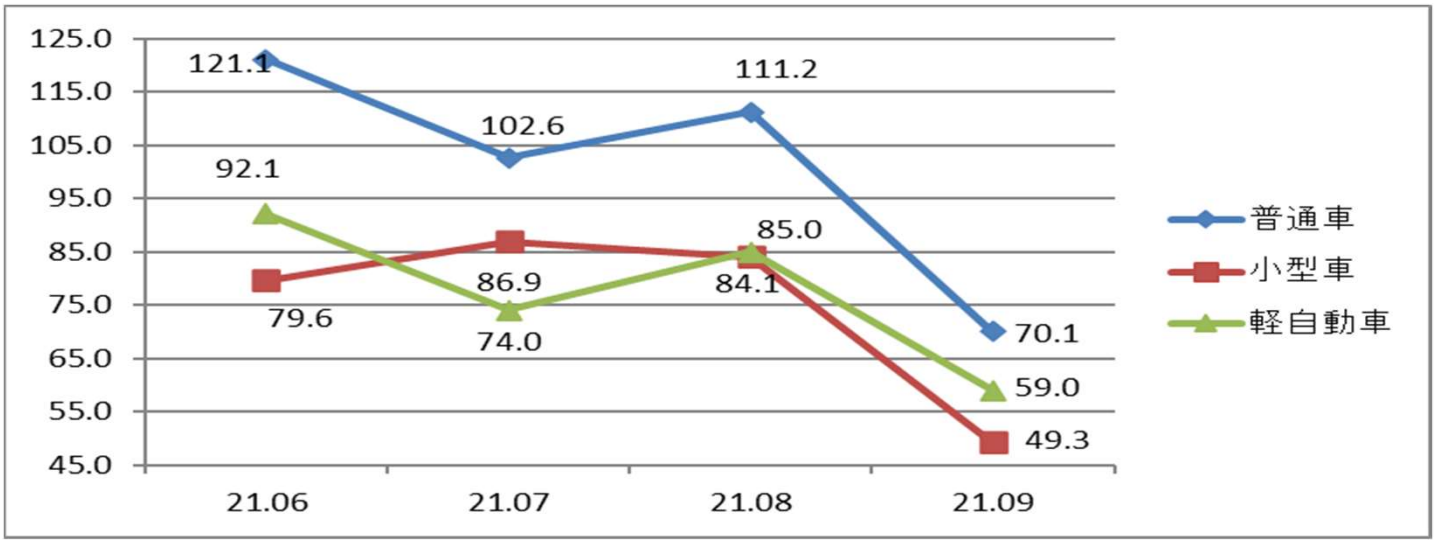
大型小売店売上高（売上前年同月比%）



（資料）長野経済研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」

新規登録台数は、全体的に大きく減少

新車登録台数前年同月比%

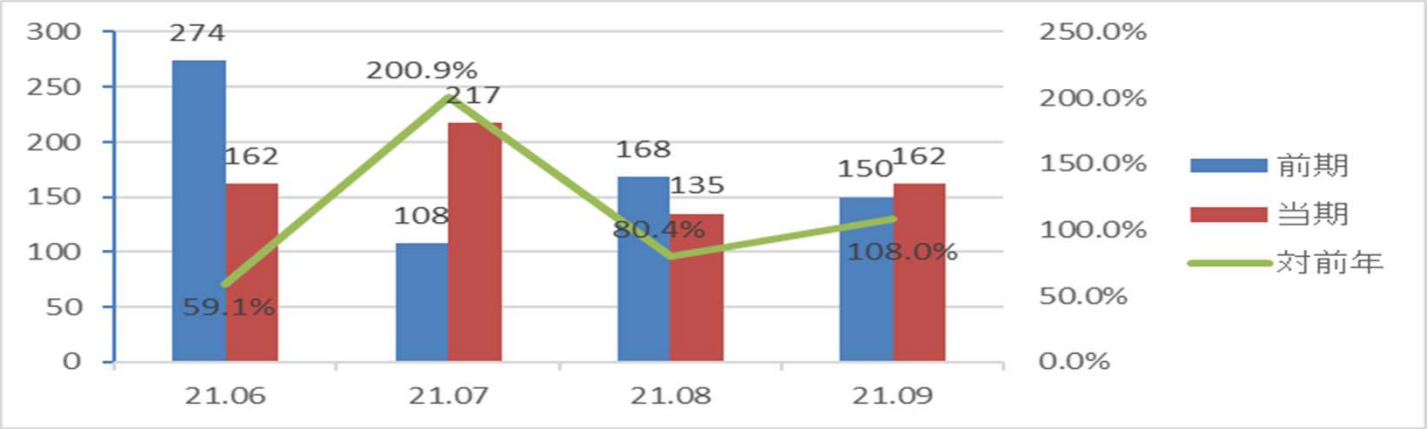


（資料）北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数の推移」

５．建設投資

着工戸数は低水準での推移

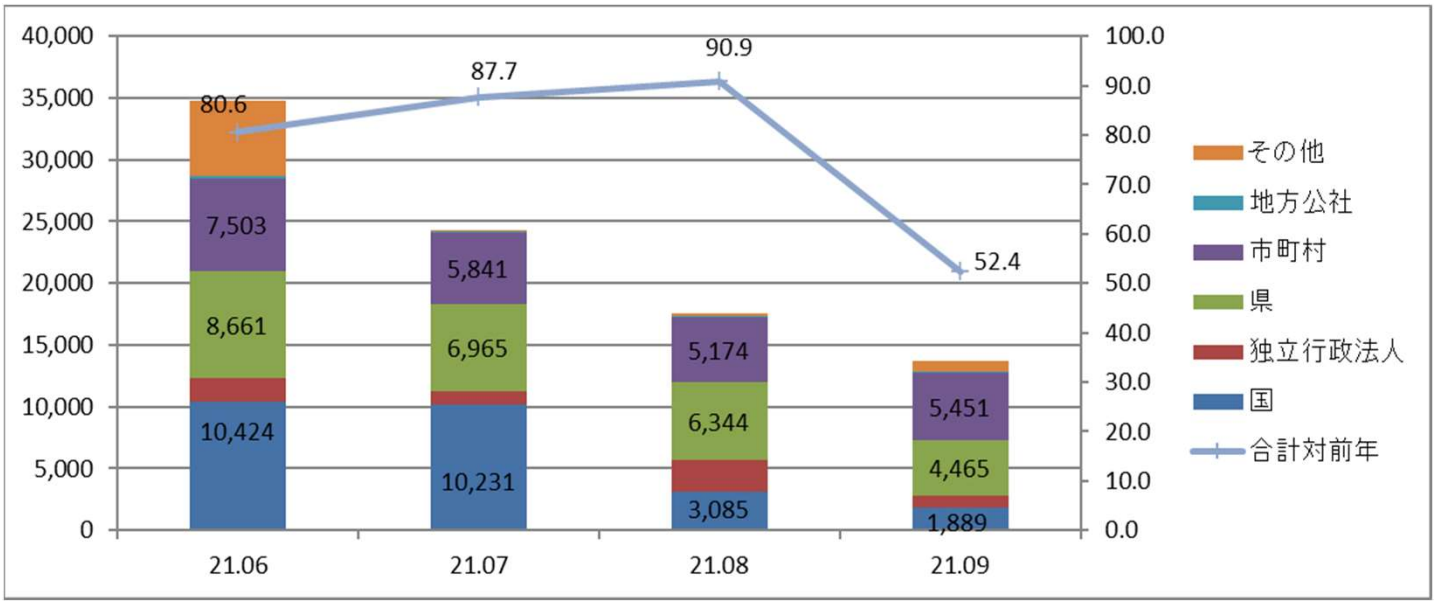
佐久地域月別着工戸数



（資料）長野経済研究所「主要経済指標」

公共工事保証請負額は上昇に転じたものの、今後の情勢は不透明

公共工事保証請負額（単位：百万円）

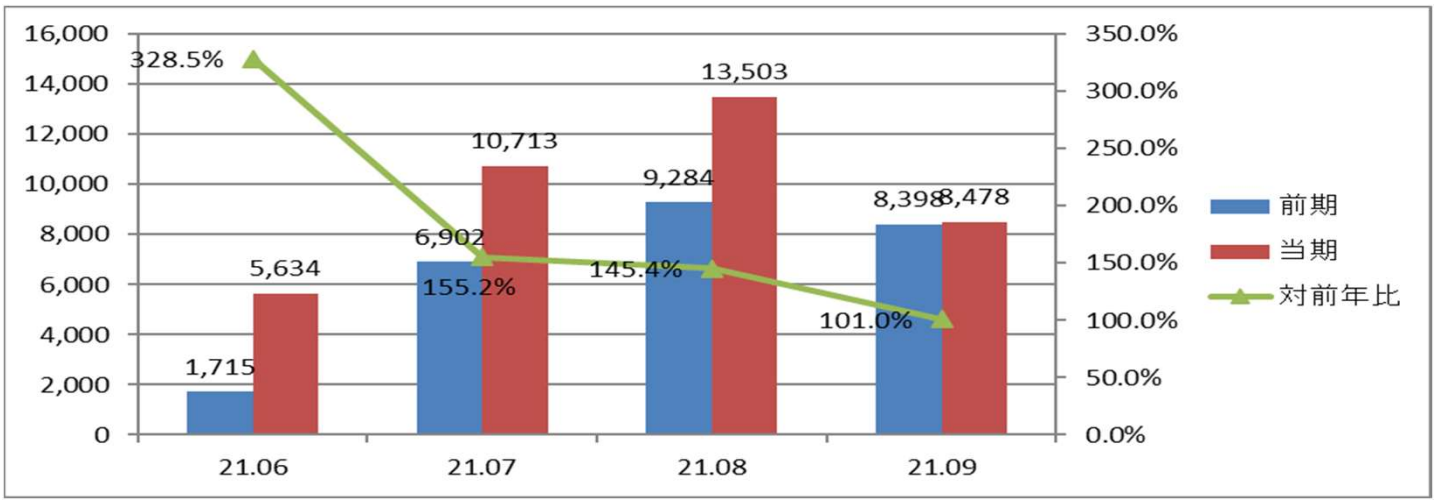


（資料）東日本建設業保証株式会社「工事場所別・発注者別保証実績表」

６．県内交通

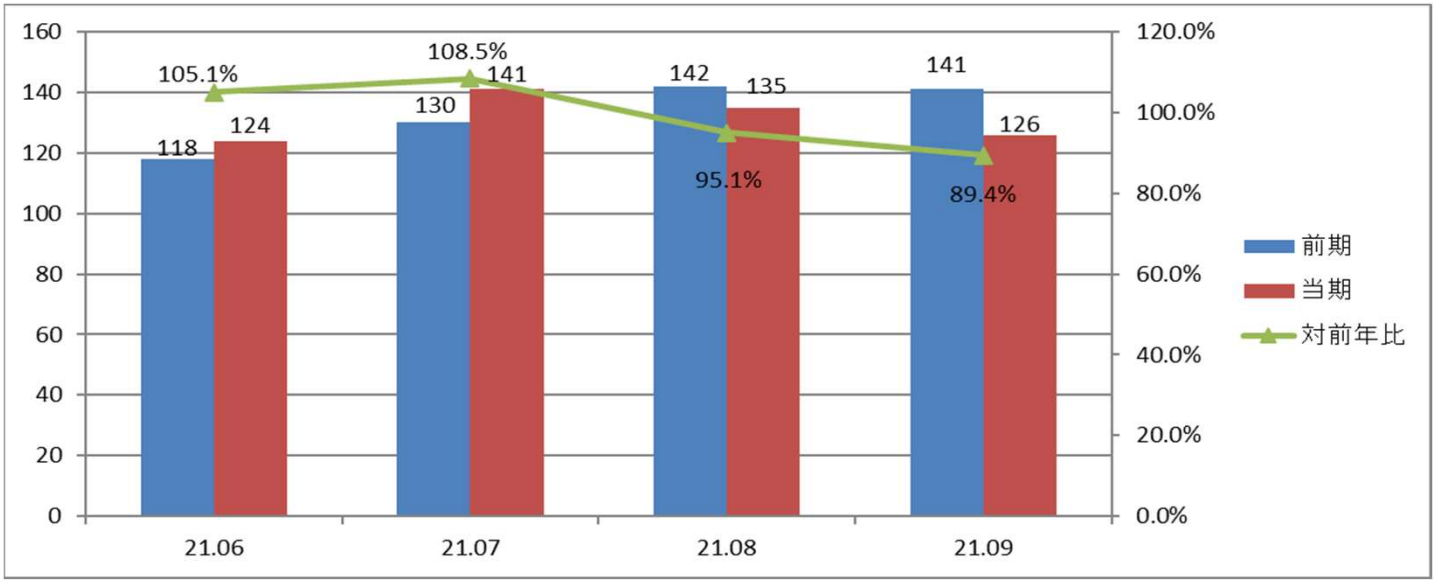
松本空港利用者は前年よりは回復傾向

松本空港利用者数



佐久インター出入り交通量は、比較的安定した出入りあり

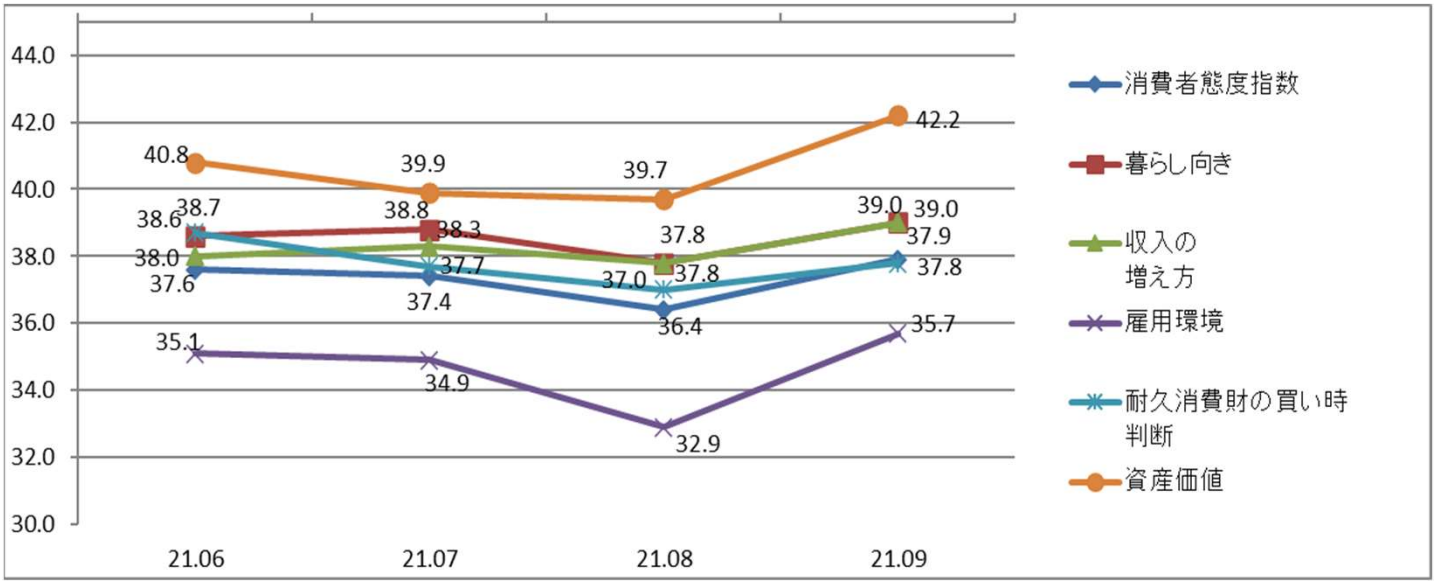
佐久インター出入り交通量



（資料）長野経済研究所「主要経済指標」

７．内閣府の消費動向調査

※消費態度指数：指数50が判断の分かれ目で、５０を超えれば消費意欲が旺盛で、下回れば意欲が減退していることを表します。



（資料）内閣府「消費動向調査」

Ⅲ　新聞等の記事より

長野県、全県に医療警報　9日から一部地域で時短要請

2021.08.06 日本経済新聞

長野県は５日、新型コロナウイルスの新規感染者が増加している佐久圏域の２市３町、上田圏域の全域（２市１町１村）を対象に、県独自の６段階の警戒レベルを「５」に引き上げ、「特別警報ＩＩ」を発令すると発表した。阿部守一知事は同日の記者会見で、新規感染者数の急増について「経験したことのない状況だ」と話し、感染防止への協力を呼びかけた。警戒レベルを５に引き上げたのは佐久圏域の佐久市、小諸市、軽井沢町、御代田町、立科町と、上田圏域の上田市、東御市、長和町、青木村。対象自治体の酒類を提供する飲食店には営業時間の短縮などを要請する。

中部の景況感1年9カ月ぶりプラス　7～9月中経連調査

2021.09.02　日本経済新聞

中部経済連合会が2日発表した2021年7～9月期の中部の景況判断は景気の良しあしを示す指数（DI）がプラス2.9で、4～6月期と比べて16.4ポイント上昇した。「良い」から「悪い」を引いたDIがプラスになるのは1年9カ月ぶり、改善は5四半期連続。製造業の業績改善や新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことを反映した。愛知、岐阜、三重、静岡、長野県にある中経連の会員企業655社を対象に調査。

長野の景気判断、９月は据え置き　日銀松本支店

2021.09.06　日本経済新聞

日銀松本支店は６日発表した９月の金融経済動向で、長野県の景気判断を「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている」と据え置いた。新型コロナウイルス禍の長期化により宿泊や飲食などのサービス消費は振るわないが、生産は増加しており雇用・所得も持ち直しに向けた動きが見られるとした。設備投資や生産、住宅投資などの項目別の判断も据え置いた。個人消費はサービス消費に弱めの動きが見られるものの、百貨店やスーパーといった大型小売店売上高で持ち直しの動きが続いているほか、家電販売額も底堅く推移している。　生産は半導体関連や電子部品などが引き続き増加している。ただ、半導体不足などの影響が広がりつつある自動車関連では持ち直しが一服しており、今後も人手不足などを含めた供給制約の広がりを注視していく必要があるとしている。

「信州安全・安心な宿魅力向上事業」の申請受付を開始

2021.9.16　長野県プレスリリース

宿泊事業者が行う感染防止対策や新たな観光需要に対する取組を支援する「信州安全・安心な宿魅力向上事業」の申請を９月２１日から開始します。

「新型コロナ中小企業者等特別応援金第2弾」の受付開始

2021.9.29　長野県プレスリリース

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上が大きく減少した県内の中小企業者等のうち、国の「緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の影響緩和に係る月次支援金（8月分又は9月分）」を受給していない事業者の皆様を対象に特別応援金を10月1日（金曜日）から受付を開始します。

参考資料

・全国商工会連合会
　「中小企業景況調査報告書」
　「小規模企業景気動向調査」
・ハローワーク佐久
　「業務月報」
・長野経済研究所
　「長野県内大型小売店売上高の動向」
　「主要経済指標」
・北陸信越運輸局長野運輸支局
　「長野県における新車新規登録台数の推移」
・東日本建設業保証株式会社
　「工事場所別・発注者別保証実績表」
・内閣府
　「消費動向調査」
・経済産業省
　「鉱工業指数」
・長野県企画振興部情報政策課統計室
　「長野県鉱工業指数」
・日本経済新聞